

為替相場展望

2012年10月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/>

目次

【為替相場概説】	p. 1
◆ドル円、ユーロ相場の回顧	p. 2
◆日米の金融政策とドル円相場	p. 3
◆実質金利の観点からのQE3による円高ドル安進行リスクの検証	p. 4
◆ECBの金融政策とユーロ相場	p. 5
◆為替需給からみた円相場	p. 6
◆ドル円、ユーロ相場の見通し	p. 7
【内外市場データ】	p. 8

◆本資料は2012年10月3日17:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

為替相場概説（2012年10月）

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<9月のドル円相場>

米F R Bが追加緩和を決定したこと等から、月半ばに一時77円台前半までドルが下落。その後、わが国通貨当局による介入警戒感の強まりや、日銀による追加緩和決定等を受けて、一時79円台まで反発したものの、日米金利差に大きな変化がみられないなか、低調な米景気指標も加わり、月末にかけて77円台まで再びドルが反落。

<9月のユーロ円相場>

E C Bによる無制限の国債購入計画発表や、独憲法裁判所によるE S M合憲判断等を受けて、債務問題に対する過度な警戒感が薄らぎ、中旬にかけて103円台までユーロが上昇。その後は、スペインの救済支援要請の遅れなどが懸念され、月末にかけて、ユーロが一時99円台まで反落。

2. 日米の金融政策とドル円相場

米F R B、日銀はともに9月の会合で追加金融緩和を決定。ドル円相場は日米の金融緩和決定の前後こそ動意づいたものの、長続きせず。金利差からの含意として、①今回のQ E 3の局面では、米金利の低下余地が乏しくなるなか、これ以上の円高は進みにくいこと、②一方で、わが国の金利引き下げ余地もほとんどないため、日銀による金融緩和は金利差から正当化されない超円高の進行リスクを低減させるのには寄与しても、持続的な円安を促すのは困難であること、を指摘可能。

持続的な円安進行には、米金利の上昇による日米金利差の拡大が不可欠であるものの、今回のF R Bの決定により、米金融政策の出口戦略が一段と遠のくなか、米金利の大幅上昇は当面見込み難く、ドル円相場は総じて膠着感の強い展開が続く見込み。

3. 実質金利の観点からのQ E 3による円高ドル安進行リスクの検証

米F R BがQ E 3を実施するなか、一段の円高ドル安進行リスクを検証。

米国の金融緩和については、米長期金利を押し下げ、ドル安圧力となるという見方が大勢。もっとも、投資家のリスク許容度の改善や、期待インフレ率の上昇等を通じて、米長期金利押し上げに作用する側面もあることから、むしろ米長期金利の上昇を通じて、ドル高圧力になるという見方も。

実際、過去2回の量的緩和において、名目長期金利の上昇に支えられる形で、ドルが反発する局面も。ただし、前2回においては、実質長期金利が上昇していたのに対し、今回は、実質長期金利は低下しており、ドル高には働かず。

先行きを展望すると、足許で名目長期金利が歴史的な低水準となっているこ

とや、期待インフレ率の上昇にも一服の兆しがみられることにより、実質長期金利低下によるドル安圧力は限られる公算。一方で、名目長期金利が上昇した場合でも、実質長期金利が上昇してこない限り、ドル円の上昇に寄与することは期待薄。

4. E C Bの金融政策とユーロ相場

E C Bは、9月6日の理事会で、新たな国債購入計画(OMT)を発表。スペインなどが実際に支援要請に踏み切るかは不透明であるものの、今後、E C Bによる国債購入が実現に向かえば、ユーロが一段と買い戻される可能性。直近時点においても完全に整理されずに残っている投機筋のユーロショートポジションの解消が促されれば、短期的には一段のユーロ上昇余地。

もっとも、①E C Bによる国債購入は、当該国の財政再建が軌道に乗るまでの時間稼ぎになるとしても、抜本的な解決策とはならないこと、②E C Bに対する追加金融緩和期待が今後も高まりやすいこと、等を踏まえれば、中長期でみたユーロ安基調は変わらない見通し。

5. 為替需給からみた円相場

円を取り巻く為替需給環境は、①わが国貿易収支の赤字基調継続、②高水準のわが国対外直接投資継続、③昨年後半と比べて低水準にとどまる投機筋の円買い、等が示すとおり、一方的な円高を正当化せず。一方で、円安ドライバーとして期待される対外証券投資や円キャリートレードは盛り上がりを欠いた状態が続いており、大幅な円安方向への反転も期待薄。

6. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

政府・日銀の円高回避に向けた強い姿勢等から、円高進行余地は限られる一方、米金融緩和長期化観測により、大幅な円安方向への反転も期待薄。少なくとも2013年春先までは、77～80円を中心としたレンジでの推移が続く見通し。2013年春以降、米財政政策を巡る不透明感が後退してくれば、小幅レンジ切り上げへ。

<ユーロ相場の見通し>

当局や加盟国による欧州債務問題への対策進展期待が維持されるなか、ユーロが底堅く推移する見通し。もっとも、①債務問題が蒸し返されるリスクの残存、②ユーロ圏の景気悪化持続、③E C Bへの追加金融緩和期待、等から、中長期でみたユーロ安基調は変わらない見通し。

ドル円、ユーロ相場の回顧

ドル円相場は、日米の金融緩和の前後こそ動意づくも、総じて小動き。ユーロ相場は、中旬にかけてユーロが上昇した後、月末にかけては反落。

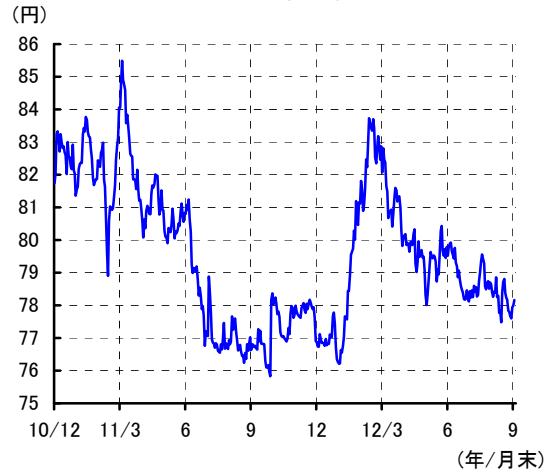
＜9月のドル円相場＞

米8月雇用統計が市場予想を下回ったことを受け、米国での追加金融緩和期待が高まったことに加え、米格付け会社が米国債の格下げの可能性に言及したこと等から、円高ドル安が進行。さらに、12～13日の米FOMCでFRBが追加金融緩和を決定したことから、13日には一時77.13円までドルが下落。その後、①わが国通貨当局による介入警戒感の強まり、②尖閣問題を背景とした日中関係の悪化懸念、③日銀による追加金融緩和の決定、等を受けて、19日にかけて79.22円まで反発したもの、日米金利差に大きな変化がみられないなか、低調な米景気指標も加わり、月末にかけて77円台まで再びドルが反落。

＜9月のユーロ相場＞

6日の理事会でECBが無制限の国債購入計画を発表したことを受けて、欧州債務問題への警戒感が薄らぎ、ユーロが上昇。その後も、①ドイツ憲法裁判所のESMに対する合憲判断、②オランダ総選挙での与党勝利、③米FRBによる追加金融緩和決定を背景とした米欧株高、④日銀による追加金融緩和決定、等も加わり、中旬には103円台後半までユーロ高が進行。もっとも、その後は、スペインの救済支援要請の遅れなどが懸念され、月末にかけてユーロが一時99円台まで反落。

ドル円相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

ユーロドル相場の推移



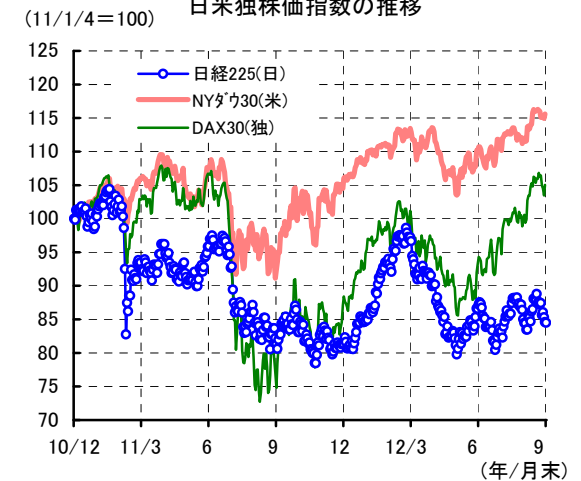
(資料)Bloomberg L.P.

ユーロ円相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

日米独株価指数の推移



(資料)Bloomberg L.P.

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年10月

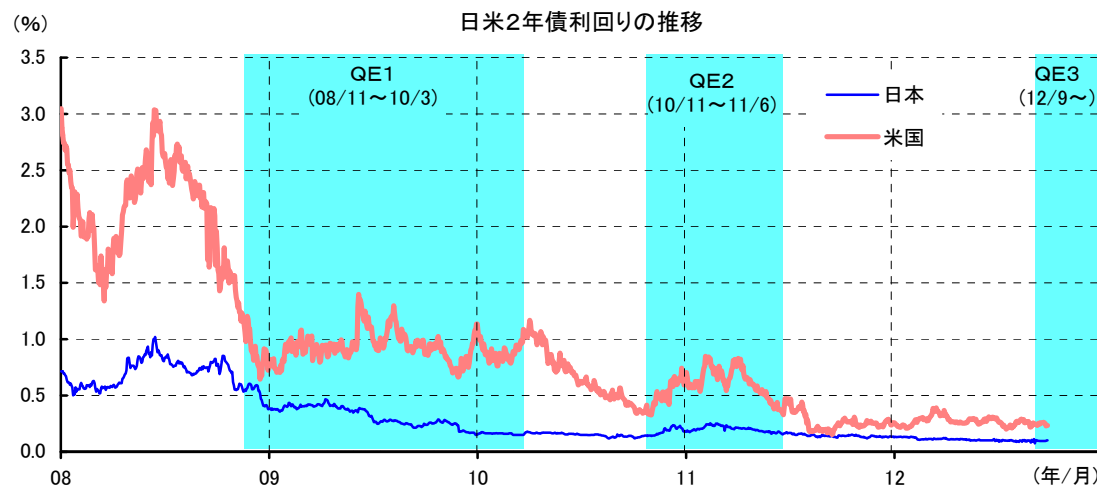
ドル円は日米の金融緩和の前後こそ動意づくも、長続きせず。今後も金利差から正当化されない円安・円高は長続きせず、総じて膠着感の強い展開が続く見通し。

米FRBは、9月12～13日のFOMCで、労働市場の見通しが大幅に改善するまで、住宅ローン担保証券(MBS)を毎月400億ドルずつ購入し続けることを決定(QE3)。加えて、超低金利政策を続ける期間を従来の少なくとも「2014年終盤まで」から「2015年半ばまで」に延長。FRBの決定を受け、ドル円は一時77.13円まで下落したものの、その後は米金利の上昇(日米金利差拡大)に下支えされ、上昇。

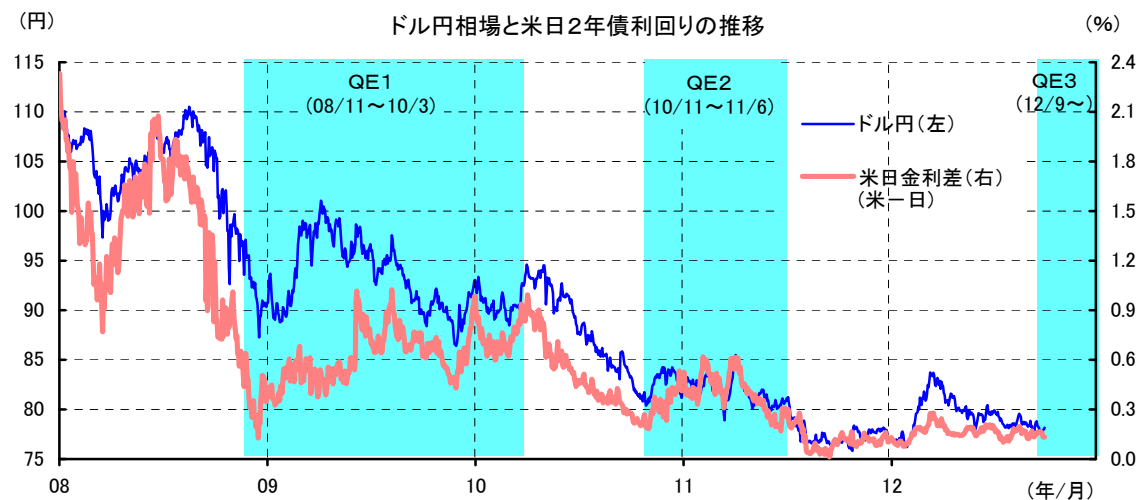
一方、日銀は、18～19日の金融政策決定会合で、資産買入等基金を10兆円増額すること等を決定。日銀の決定を受け、ドル円は一時79.22円まで上昇したものの、日米金利差に大きな変化がみられないなか、再び反落。

金利差からの含意として、①これまでのQE1、QE2などの局面では、米金利の低下(日米金利差縮小)余地があったものの、今回のQE3の局面では、米金利の低下余地が乏しくなるなか、これ以上の円高は進みにくいこと、②一方で、わが国の金利引き下げ余地もほとんどないため、日銀による金融緩和は金利差から正当化されない超円高の進行リスクを低減させるのには寄与しても、持続的な円安を促すのは困難であること、を指摘可能。ちなみに、米日2年債利回り格差をもとに試算すると、足許の金利差に見合うドル円相場の水準は、79円±3.2円程度(注)となっており、足許のドル円相場は概ね適正水準。

持続的な円安進行には、米金利の上昇による日米金利差の拡大が不可欠であるものの、今回のFRBの決定により、米金融政策の出口戦略が一段と遠のくなか、米金利の大幅上昇は当面見込み難く、ドル円相場は総じて膠着感の強い展開が続く見込み。



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.

(注)推計値は単回帰分析で推計した2標準偏差の範囲内。

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2012年10月

実質金利の観点からのQE3による円高ドル安進行リスクの検証

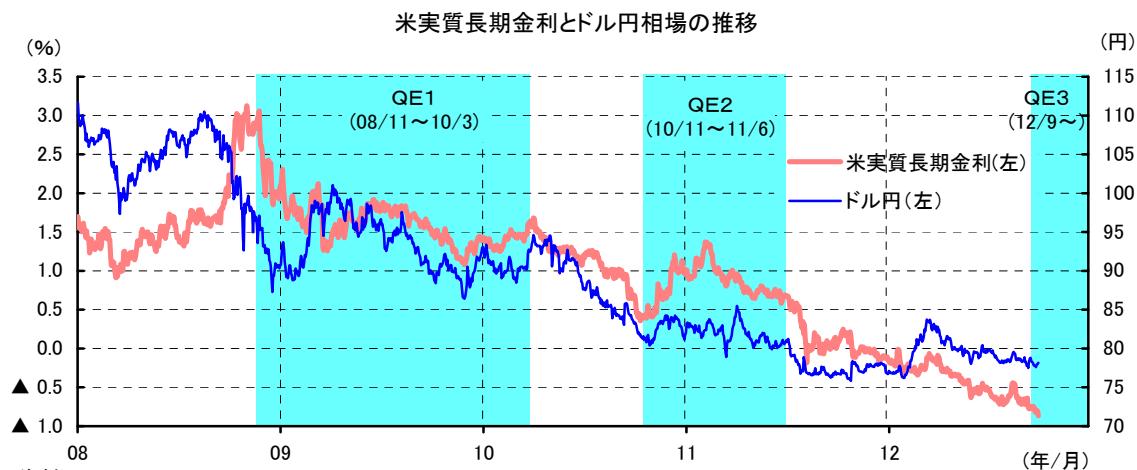
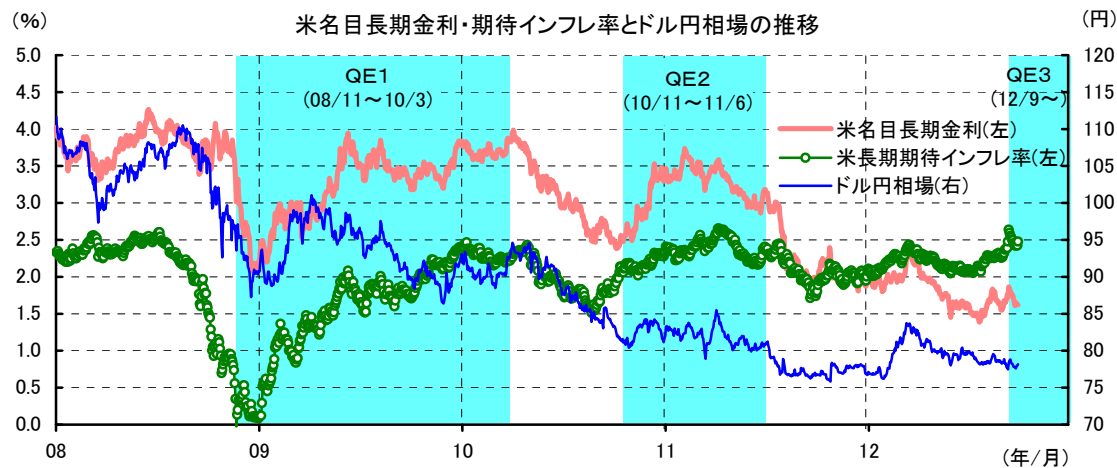
実質金利低下によるドル安圧力は限られる一方、名目金利が上昇した場合でも、実質金利が上昇してこない限り、ドル円の上昇に寄与することは期待薄。

米FRBがQE3を実施するなか、一段の円高ドル安進行リスクを検証。

ドル円相場は米2年債利回りだけではなく、米10年債利回り(以下、米長期金利)とも高い相関。米国の金融緩和については、米長期金利を押し下げ、ドル安圧力となるという見方が大勢。もっとも、投資家のリスク許容度の改善や、期待インフレ率の上昇等を通じて、米長期金利押し上げに作用する側面もあることから、むしろ米長期金利の上昇を通じて、ドル高圧力になるという見方も。実際、過去の量的緩和(2009年3月のQE1の規模拡大時や、2010年6月のQE2開始時など)において、長期金利の上昇に支えられる形で、ドルが反発する局面も。

ただし、前2回においては、期待インフレ率の上昇以上に名目長期金利が上昇したことで、その差で示される実質長期金利も上昇していたのに対し、今回は、期待インフレ率の上昇ほどには名目長期金利が上昇せず、むしろ実質長期金利は低下(マイナス幅が拡大)しており、ドル高には働かず。

先行きを展望すると、足許で名目長期金利が歴史的低水準となっていることや、期待インフレ率の上昇にも一服の兆しがみられることにより、実質長期金利低下によるドル安圧力は限られる公算。一方で、名目長期金利が上昇した場合でも、実体経済の改善を通じて実質長期金利が上昇してこない限り、ドル円の上昇に寄与することは期待薄。



ECBによる国債購入が実現に向かえば、短期的にはユーロ上昇の余地があるものの、中長期でみたユーロ安基調は変わらない見通し。

ECBは、9月6日の理事会で、政策金利を据え置く一方、非伝統的政策に関しては、当該国がESMなどに支援要請することを条件に、規模や期限を設けず、期間1～3年の国債を買い入れる新たな国債購入計画(OMT)を発表。

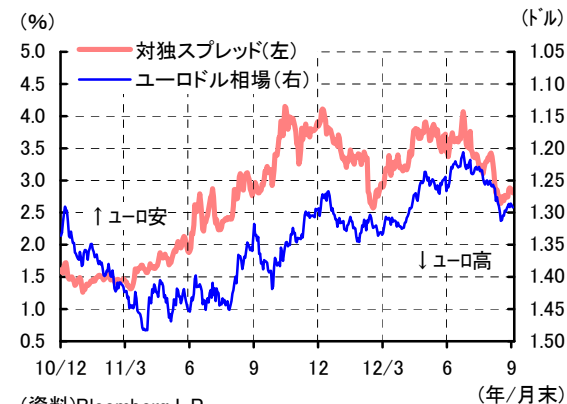
ECBの発表を好感し、欧州債務問題の深刻度合いを象徴するユーロ圏周辺国10年債利回りの対独スプレッドは一段と縮小。また、安全資産とされる独2年債の利回りは上昇し、対米金利差はマイナス幅が縮小、対日金利差は一段と拡大。

ユーロ相場は、ドラギECB総裁の会見直後こそ材料出尽くし感から、ユーロが売られたものの、周辺国債利回りの対独スプレッドの縮小や独金利の上昇に支えられ、その後は買い戻される展開に。スペインなどが実際に支援要請に踏み切るかは不透明であるものの、今後、ECBによる国債購入が実現に向かえば、ユーロが一段と買い戻される可能性。

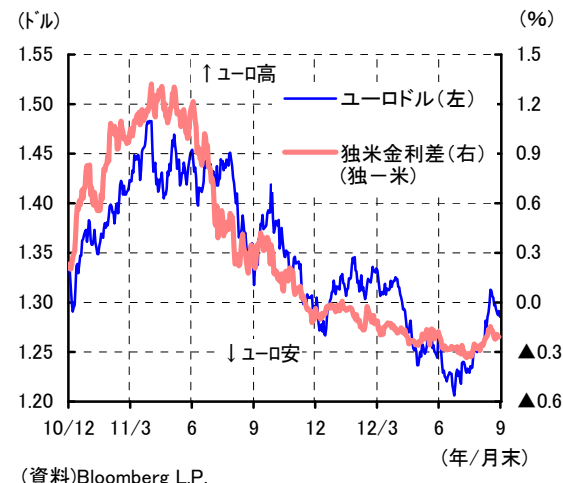
なお、ユーロが買い戻される過程で、シカゴIMM通貨先物取引におけるユーロショートポジションが大きく縮小しており、投機筋によるポジションの巻き戻しがユーロの反発に大きく影響を与えた公算大。直近時点においても完全に整理されずに残っている投機筋のユーロショートポジションの解消が促されれば、短期的には一段のユーロ上昇余地。

もっとも、①ECBによる国債購入は、当該国の財政再建が軌道に乗るまでの時間稼ぎになるとしても、抜本的な解決策とはならないこと、②緊縮財政により財政政策が封じられるなか、ECBに対する追加金融緩和期待が今後も高まりやすいこと、等を踏まえれば、中長期でみたユーロ安基調は変わらない見通し。

ユーロ圏10年債の対独スプレッドとユーロドル相場の推移



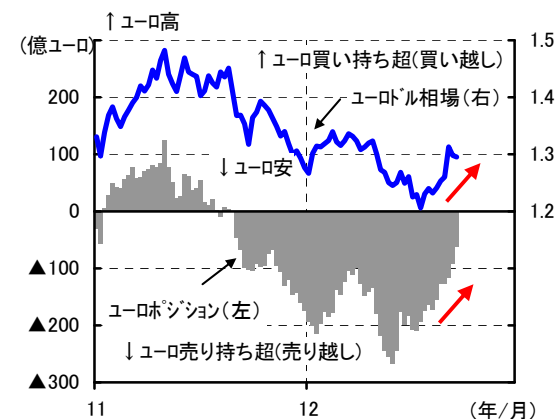
ユーロドル相場と独米2年債利回り格差の推移



ユーロ円相場と独日2年債利回り格差の推移



シカゴIMM・ユーロポジション(非商業部門) (ドル)



円を取り巻く為替需給環境は、一方的な円高進行を正当化せず。一方で、大幅な円安方向への反転も期待薄。

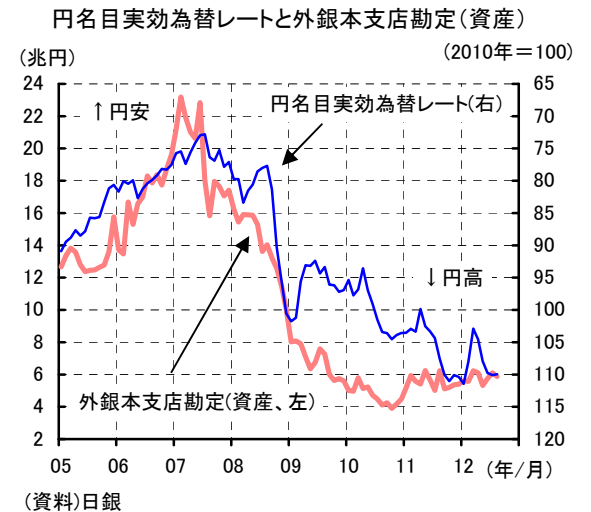
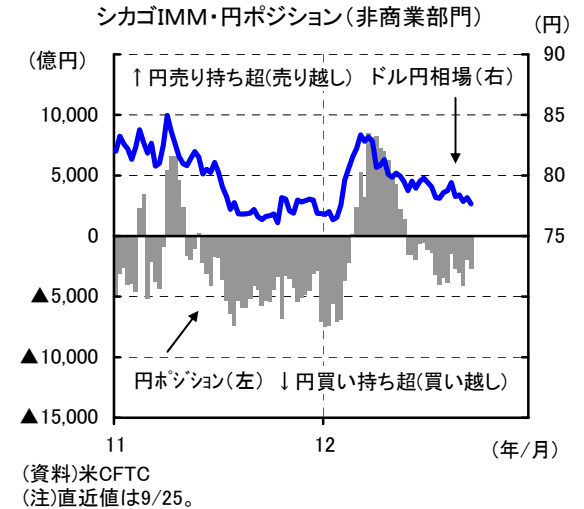
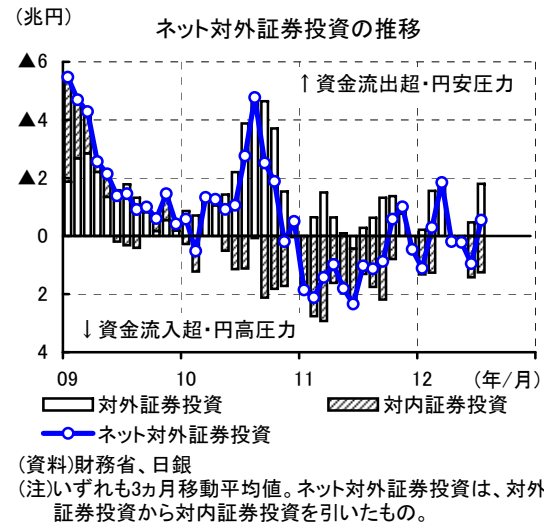
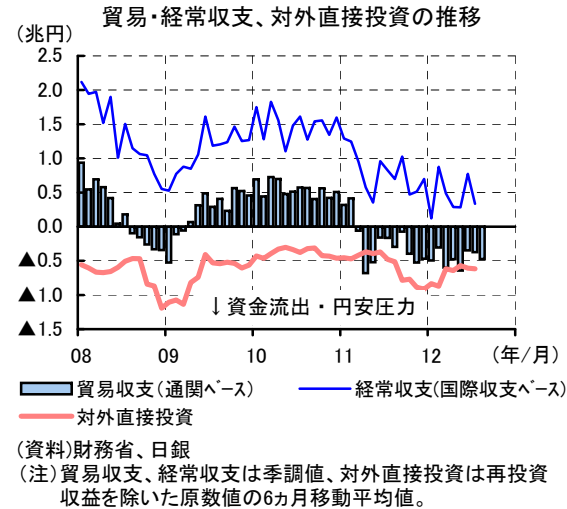
円を取り巻く為替需給環境は、一方的な円高進行を正当化せず。

第一に、わが国の貿易収支は、赤字基調が継続。先行きについても、海外経済の減速による輸出の低迷と、原発停止に伴う火力発電用燃料需要の増加等による輸入の高止まりにより、明確な黒字基調復帰にはなお時間を要する見通し。所得収支黒字に支えられ、経常黒字は維持される見込みながら、経常黒字幅が大幅に縮小するなか、円高圧力は引き続き限定的となる公算大。

第二に、対外直接投資が引き続き高水準で推移しており、対外直接投資を通じた資金流出が円の上昇を抑制。海外市場の成長期待等から、今後もこうした構図が続く可能性。

第三に、投機筋に円買いの勢いはみられず。投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)の円ロングポジションは昨年後半と比べ低水準で推移。今後、投機筋が円買いを拡大させるリスクは残るものの、投機的な円高が進む局面では、わが国通貨当局による円売り介入が予想され、投機筋の円買いの一部を吸収する見込み。

一方で、大幅な円安方向への反転も期待薄。円安ドライバーとして期待される対外証券投資や円キャリートレードは盛り上がりを欠いた状態。欧州債務問題は小康状態となっているものの、債務問題の再燃懸念の残存や世界景気の先行き不透明感等を背景に投資家のリスク許容度の改善が限定的となっているほか、世界的な金融緩和を背景に海外との金利差が縮小していること等が背景。当面、投資家の根強いリスク回避姿勢や低水準の内外金利差が投資意欲を抑制し続ける公算。



【ドル円】少なくとも2013年春先までは77～80円を中心に推移する見通し。

【ユーロ】短期的にはユーロが底堅くも、ユーロ安基調は変わらない見通し。

＜ドル円相場の見通し＞

米F R Bが、雇用情勢の大幅な改善が認められるまで緩和小金融政策を継続する姿勢を示したことに加え、財政再建等の影響により米国景気が下振れリスクを抱えるなか、ドル安圧力が残存。もっとも、①わが国通貨当局の円高回避に向けた強い姿勢、②米国債利回りの低下余地の乏しさ、③わが国貿易収支の赤字基調継続、等から、円高ドル安進行余地は限られ、当面、77～80円を中心とした円高値圏での推移が続く見通し。

2013年春以降、米財政政策を巡る不透明感が後退してくれば、米国景気の持ち直しに伴い円安ドル高方向に小幅ながらレンジを切り上げる可能性。もっとも、米F R Bによる量的緩和の打ち止め及び超低金利政策の解除が視野に入るまでは、円安ドル高方向への大幅な反転も期待薄。

＜ユーロ相場の見通し＞

E C Bによる国債購入をはじめ、当局や加盟国による欧州債務問題への対策進展期待が維持されるなか、ユーロが底堅く推移する見通し。もっとも、①E C Bによる国債購入だけでは債務問題の抜本的な解決にはならず、債務問題が蒸し返されるリスクが残ること、②ユーロ圏景気の悪化が続く見込みであること、③財政政策が封じられるなか、E C Bへの一段の金融緩和期待が高まりやすいこと、等から、中長期でみたユーロ安基調は変わらない見通し。

ユーロの本格的な反転上昇には、E C BやE S Mが国債買入で時間を稼ぐ間に、加盟国が財政再建、財政統合、安全網の拡充等に向けて前進していくと同時に、南欧諸国の景気悪化に歯止めがかかる必要。

ドル円相場見通し

	2012年		2013年		
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
期中平均	78.6	78	79	80	81
(高値)	80.1	83	83	84	85
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	77.1	76	76	77	78

予測

ユーロ円相場見通し

	2012年		2013年		
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
期中平均	98.4	100	98	98	99
(高値)	103.9	106	104	104	105
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	94.1	94	92	92	93

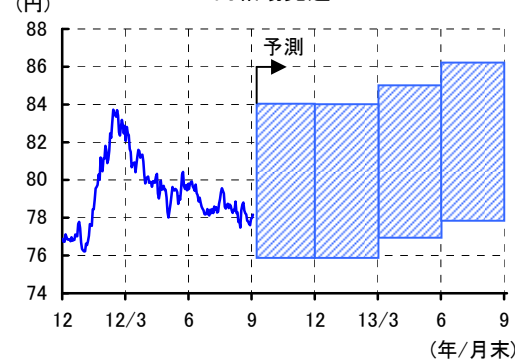
予測

ユーロドル相場見通し

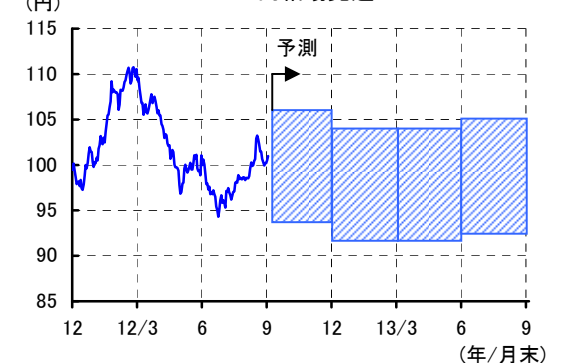
	(ドル)				
期中平均	1.25	1.28	1.24	1.22	1.21
(高値)	1.32	1.35	1.31	1.29	1.28
レンジ	∩	∩	∩	∩	∩
(安値)	1.20	1.21	1.17	1.15	1.14

予測

ドル円相場見通し



ユーロ円相場見通し



内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債 10年物 (%)	プライムレート		為替相場		日経平均 株価 (円)	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)		短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur		F F 0/N	ユー3ヵ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	ユー3ヵ月	10年国債
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.25	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.42	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.24	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.23	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.23	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.25	3.82	11052.15	0.59	3.09
10/5	0.30	0.091	0.39	0.50	0.48	0.69	1.34	1.27	1.475	1.60	91.74	114.68	10103.98	0.20	0.36	3.40	10500.19	0.63	2.80
10/6	0.30	0.095	0.39	0.50	0.47	0.65	1.27	1.20	1.475	1.45	90.92	110.99	9786.05	0.18	0.45	3.19	10159.25	0.66	2.63
10/7	0.30	0.094	0.37	0.49	0.45	0.59	1.16	1.09	1.475	1.45	87.72	111.81	9456.84	0.18	0.43	2.98	10222.24	0.79	2.65
10/8	0.30	0.095	0.37	0.49	0.43	0.54	1.04	0.98	1.475	1.45	85.47	110.36	9268.24	0.19	0.35	2.68	10350.40	0.83	2.37
10/9	0.30	0.090	0.36	0.47	0.41	0.55	1.13	1.06	1.475	1.45	84.38	109.94	9346.72	0.20	0.31	2.64	10598.07	0.83	2.34
10/10	0.30	0.091	0.34	0.45	0.38	0.47	0.97	0.89	1.475	1.30	81.87	113.65	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	0.94	2.37
10/11	0.30	0.091	0.34	0.45	0.40	0.55	1.12	1.05	1.475	1.40	82.48	112.64	9797.18	0.20	0.29	2.75	11198.31	0.98	2.56
10/12	0.30	0.087	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.19	1.475	1.60	83.41	110.28	10254.46	0.18	0.29	3.28	11465.26	0.95	2.96
11/1	0.30	0.085	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.21	1.475	1.50	82.63	110.53	10449.53	0.17	0.29	3.36	11802.37	0.95	3.05
11/2	0.30	0.093	0.34	0.45	0.43	0.71	1.34	1.28	1.475	1.65	82.53	112.70	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1.04	3.23
11/3	0.30	0.085	0.34	0.45	0.40	0.64	1.29	1.25	1.475	1.60	81.79	114.48	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1.13	3.25
11/4	0.30	0.062	0.33	0.44	0.39	0.65	1.32	1.27	1.475	1.70	83.35	120.34	9644.63	0.10	0.27	3.43	12434.88	1.27	3.35
11/5	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.56	1.19	1.14	1.475	1.55	81.23	116.03	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1.38	3.11
11/6	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.54	1.15	1.13	1.475	1.50	80.51	115.82	9541.53	0.09	0.24	2.99	12097.31	1.43	2.97
11/7	0.30	0.073	0.33	0.44	0.37	0.53	1.13	1.11	1.475	1.50	79.47	113.52	9996.68	0.07	0.22	2.98	12515.68	1.54	2.78
11/8	0.30	0.081	0.33	0.44	0.33	0.46	1.03	1.02	1.475	1.35	77.22	110.62	9072.94	0.10	0.26	2.29	11326.62	1.50	2.25
11/9	0.30	0.080	0.33	0.43	0.34	0.46	1.00	1.00	1.475	1.40	76.84	105.89	8695.42	0.08	0.31	1.96	11175.45	1.48	1.87
11/10	0.30	0.081	0.33	0.43	0.35	0.47	1.01	1.01	1.475	1.40	76.77	105.24	8733.56	0.07	0.36	2.13	11515.93	1.51	2.04
11/11	0.30	0.073	0.31	0.41	0.35	0.45	0.95	0.94	1.475	1.40	77.54	105.05	8506.11	0.08	0.36	2.00	11804.33	1.43	1.95
11/12	0.30	0.078	0.33	0.43	0.38	0.49	1.00	1.00	1.475	1.40	77.85	102.54	8505.99	0.07	0.37	1.97	12075.68	1.36	1.99
12/1	0.30	0.081	0.33	0.43	0.37	0.47	0.98	0.97	1.475	1.40	76.97	99.35	8616.71	0.08	0.35	1.94	12550.89	1.16	1.86
12/2	0.30	0.085	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.96	1.475	1.40	78.45	103.85	9242.33	0.11	0.32	1.96	12889.05	0.98	1.90
12/3	0.30	0.084	0.33	0.44	0.35	0.48	1.04	1.00	1.475	1.35	82.43	108.83	9962.35	0.13	0.30	2.16	13079.47	0.76	1.88
12/4	0.30	0.075	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.95	1.475	1.35	81.49	107.14	9627.42	0.15	0.31	2.03	13030.75	0.66	1.73
12/5	0.30	0.084	0.33	0.44	0.35	0.43	0.89	0.85	1.475	1.30	79.70	101.95	8842.54	0.16	0.28	1.78	12721.08	0.61	1.46
12/6	0.30	0.076	0.33	0.44	0.34	0.41	0.85	0.83	1.475	1.30	79.32	99.39	8638.08	0.16	0.28	1.61	12544.90	0.57	1.43
12/7	0.30	0.084	0.33	0.43	0.30	0.36	0.78	0.77	1.475	1.25	79.02	97.15	8760.68	0.16	0.28	1.50	12814.10	0.38	1.31
12/8	0.30	0.093	0.33	0.43	0.30	0.38	0.82	0.80	1.475	1.25	78.66	97.53	8949.88	0.13	0.27	1.67	13134.00	0.21	1.42
12/9	0.30	0.085	0.33	0.43	0.29	0.36	0.80	0.80	1.475	1.25	78.17	100.39	8948.59	0.05	0.26	1.70	13418.50	0.16	1.54

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。